

相談ネットワーク通信

2013. 12. 10(火)

子育て・教育なんでも相談ネットワーク 岡山市北区表町1-4-64 上之町ビル3F

No. 81

TEL・FAX 086-226-0110 Eメール: soudan-net@vivid.ocn.ne.jp

学校の今を考える

今の私を責めないで

未来の私を励まして

生まれ育ち、学びながら生きるということ①

高卒認定フジゼミ

志賀兼光

はじめに
○「私は、みんなへのお願いを
考えた。
まず親へ

「勉強しなさい」だけじゃなく、
少しは子どもの勉強を見てくだ
さい。子どもにさみしい思いを
させないで下さい。子どもに色々
聞いてください。考えごとを相
談して下さい。子どもを親の高
みにしぼりつけないで、少し自
由にしてください。ほかにもあ
ると思うけど、今はこれだけに
します。

次は先生へ

みんななともっと話してくださ
い。遊んでください。たまには

みんなの気持ちを考えてくださ
い。成績などで、ひいきしない
てください。まにあわないとか
で、急いで授業をしないでくだ
さい。先生達にもまだあると思
うけどこれだけにします。

お次は、日本の政治へ

とにかく最悪な日本をどうに
かしてください。どうなつてん
ですか。今の日本、悪い事、多
すぎです。がんばってください。
お願いします。私達の番がきた
ら、私達もいい日本を作るよう
にがんばろうと思えます！

次は、子ども達のみなさんへ

親、先生に何でも話してみま
せんか。ひとり子どもだけで考

え込んでいると病気になる
よ。親、先生は、必ず力になつ
てくれますよ。そうそう、あと
ナイフ、エアガンなどはやめま
しょう。日本は、もう戦争しな
いとちかつたんです。ナイフは
刃物、エアガンは鉄砲みたいな
もんだから、しようと思えば、
小さな戦争になります。とにか
く、なんでも話そう」
(学級通信に載せた中学一年の
女子のメッセージより)



●「お国のために命を投げ出して、お国の為に命を生み出す。お国の為に命をささげた人があつて今ここに祖国があるということ。子どもに教える。これに尽きる。国のために命を投げ出すことをいとわない機構、つまり国民の軍隊が明確に意識されなくてはならない。この中で国民教育が復活していく。これは、戦前、戦中の提言ではありません、元民主党国会議員、西村眞悟氏が朝日新聞に載せた2004・2・26付の記事です。

○「競争については、ちよつと変かもしれないけど、競争して何か意味があるのかなあ、と思うんですよ。その先に何かあるのかなあ、って思う。競争しないで力を合わせて生きていけば何とかなるんじゃないかなって。うまく言えないけどみんなが幸せだったら自分も幸せになれるかなあ。そういう

人と一緒に生きていけたら、それが幸せかなあ。困っている人がいたら助けたい。人の為に役立つ事ができたら幸せだなあと思う。北海道の檜山の上ノ国町に住む女子高校生の声(「子ども達の声と教育改革」田中孝彦著から)です。

●「人間の遺伝子が解析され、もって生まれた能力が分かる時代になってきました。これからの教育ではその事を認めるかどうかが大切になってくる。僕はあくセプト(許容)せざるをえないと思う。自分でどうにもならないものは、そこに神の存在を考えるしかない。ある種の能力の備わっていないものが、いくらやってもねえ。いずれは就学時に遺伝子検査を行い、それぞれの子どもの遺伝子情報に見合った教育をしていく形に変わっていくですよ」とのたまうのは教育改革国民会議長でノーベル物理学受賞者江崎玲於奈氏。そし

て「できん者はできんままに結構。戦後50年、落ちこぼれの底辺をあげる事ばかりに注いできた学力を、これからはできる者を限りなく伸ばすことに振り分ける。百人に一人でいい、やがて彼らが国を引っ張っていきます。限りなくできない非才、無才には、せめて実直な精神だけを養って置いてもらえばいいです。それが「ゆとり教育」の本当の目的。エリート教育とは言いにくい時代だから、回りくどく言っただけの話だ」。これは元文化庁長官で教育課程審議会会長を務めた三浦朱門氏が教育の論点として文芸春秋に寄せた内容。



二十一世紀に入って提言されたこれらが今の教育体制の源流となつて教師や保護者、なによりも子どもの上にのしかかつてきています。

私は、国の教育政策を提言してきた権威ある肩書きを持つ著名な「文化人」よりも、未来に対して大先輩の、市井に生きる子どもたちの切実な提言の方をはるかに誇りに思っています。

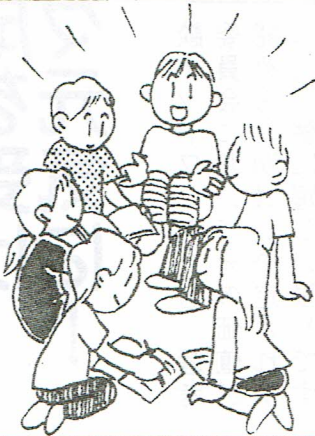
○今、この国は、どこか「へん」な道を辿ろうとしています。3歳の孫流に言え「へんちくりんだね」です。モノにあふれ、お金さえあれば何不自由なく便利なモノが手に入る時代なのに、未来に対しては、まるで次々と現れる重い扉を必死にこじ開けないと前に進めない閉塞感に襲われています。大人や教師はもとより子どもさえもどこか「営みが巨大な機構の中に組み入れられて、それらがなんだか、人間から離れ、

明日への望みが失われ、本当の知恵が傷つけられ、真面目な夢が消えてしまった」かのようです。

- 私は、未来を紡ぐ子ども達Ⅱ小・中・高校生Ⅱの学校生活を含めた現実の暮らしぶりの生の声を伝えながら、本当の知恵が磨かれ、明日への望みが語れる「生きた学力」の行方を探り、「学校はおもしろいところですよ」
- 「学校は何でもおしえてもらえるところですよ」
- 「学校はちよっぴり疲れるところですよ」
- 「学校は先生が親切ですよ」
- 「学校は一番いいところですよ」
- 「学校は夢があるところですよ」
- 「学校は宝物があるところですよ」
- 「学校は勇気づけられるところですよ」
- 「学校は私達のふるさとになる場所ですよ」

と伝えてくれた東京の夜間中学校の卒業生と「楽しく学校に通い、安心して未来の幸せをつかむための学力を身につけて欲しい」と願う子を持つ親達の訴えに、微力な提言を！と、このシリーズを始めたい。忌憚なきご批判をいただきながら、私自身も学びを深めたいと考えています。

しが かねみつ



無条件に自分を受け入れてくれる 幼児とのふれあい

先日、義母の月命日に墓参りをした。いつもは、車で墓地の入り口まで乗りつけているが、色づき始めたもみじのトンネルを通ろうと、歩いてお参りをした。帰りは少し遠回りして、イノシシの堀散らした法面を見ながら歩いた。途中で知人に会い、野菜や果樹の話に花が咲いた。

私が退職後ボランティアで「相談ネットワーク」に来ていることを言うと、その知人が「小学校のとき不登校になっていた女の子がうちの孫と遊ぶようになった。学校に行けるようになったよ。」と話してくれた。その子の祖母は、学校に行かないことをいつも嘆いて話題にしていたそうだ。知人のお孫さんと、たまに遊ぶようになって、少しずつ変化が表れ、おばあさ

んは「また時々来るように言つてえよ。」と知人の孫が来るのを楽しみにするようになったそうだ。いろいろなあつてのことだろうが、その後、その女の子は高校にも進み、今は結婚して子どももいるんよ。」と話してくれた。

私たちは、その子の立場になつて無条件に思いを受けとめ「あるがままのあなたでいいんだよ」とメッセージを送るが、下心がいっぱいなんだろう。幼児が純粹に「おねえちゃん、おねえちゃん」と慕ってくれ、何もかざらない自分を出すことが出来る安心と、自分の存在意義を感じたとき、この少女は一步踏み出せたのかもしれない。遠回りが本当によいプレゼントをくれた。

あきやま まさみ

平成二十五年度

教育文化助成を受け 増々元気に！

昨年度に引き続き平成二十五年度も日本教育公務員弘済会の「教育研究助成事業」の「教育文化助成金」を受けることができました。

「教育文化助成」は「学校教育、社会教育、学術、文化・芸術、スポーツ等の各分野において重要でありながら、資金が十分でない」とされている個人または団体等の特色ある研究や継続的な活動等を助成し、もって本県の教育文化の発展に資する」（教育文化助成募集要項）ことを趣旨としています。

二十四年間継続して相談活動講演活動を続けている「子育て・教育なんでも相談

ネットワーク」も、選考委員会においてその価値が認められ助成が決定されました。誠に嬉しい限りです。岡山県下では40の個人団体が選定されました。

「相談ネットワーク通信」を充実させ、子どもたちの健全やかな成長・発達を支援する一ことをテーマにして申請をしていますので、増々頑張つてネットワーク通信を出していきたいと思っています。

通信の充実のためにも各地の子どもの様子や会員の皆様からの声を事務局まで寄せていただければと思っています。メールまたはお手紙でお願いします。

おすすめの本

「教科書の国定化か!? 安倍流『教育再生』を問う」
かもがわ出版, 定価本体 1000円



十一月十六日「子どもと教科書岡山県ネット」の結成総会が開かれました。安倍政権の進める「教育再生」で子どもはどうなるのか、教育・教科書はどう変えられるのか。多くの方々と学び合い「教科書の国家統制法」の制定に反対する世論を地域からつくっていくことを目的としています。

会の結成を記念しての講演会では、「子どもと教科書全国ネット21」事務局長の俵義文さんがお話されました。このブックレットは「教育再生」の危険な内容を多くの方に知っていただくためのテキストとして大いに活用できるものです。

年金問題シリーズその1

年金額引き下げの大改悪の始まり

全日本年金者組合岡山県本部 書記長 田中 博

今年の10月分から全ての年金額が1%引き下げられました。これは、昨年11月、「物価スライド特例分」の解消を口実に2・5%の年金削減を法定したもの最初の1%です。来年の4月にさらに1%、再来年の4月に0・5%引下げられます。政府は2・5%削減後も「マクロ経済スライド」による毎年の年金引下げ(1%~1・3%)を画策しています。

食料品や光熱費など生きるため欠かせない物価が高騰をつづけています。このようなときに、高齢者の生存権を脅かし、内需をますます冷え込ませる年金の引き下げは、不当というほかありません。

そもそも「2・5%削減」に理があるのでしょうか。2000年度に物価スライド実施を見合わせ、時の自公政府は3年分の1・7%を据え置きました。そのときに据え置いた「特例分」

1・7%(その後2・5%に拡大)を解消するというのが年金削減の口実です。この特例措置は「現下の社会経済情勢にかんがみ」つまり高齢者の生活と経済へ配慮して行われた措置です。当時に比べて高齢者、経済の状況は良くなっておらず、特例水準を解消できる理由は有りません。年金はその後2・2%引き下げられ、医療・介護保険料は引き上げられ、年金への課税も引き上げられています。

全日本年金者組合はこの年金引下げに「異議あり」として、10万人以上の「行政不服審査請求」にとりくんでいます。行政不服審査法に基づくもので、行政庁の違法・不当な処分に対して不服申し立てのみちを開いて国民の権利利益の救済を図る国民の権利です。

たなか ひろし

ベトナムに保育園を！

前に紹介しました中元輝夫さんの「ベトナムに保育園を！」の活動が広がっています。

中元さんは、「海の墓標を」でお世話になられたベトナムの人たちに、そのお礼として保育園を寄付することを思い立たれました。本の印税などをもとに広く呼び掛けられて実現をめざしておられます。

ベトナムと日本の友好の一環としてもぜひとも早期に実現させたいものです。ご協力をお願いいたします。郵便振替の番号は下記の通りです。

1330-7-101596

中元輝夫

年金問題はシリーズでお届けします。ご愛読ください。

青春断想⑨

百八十度変わったようにみえた先生方

私の八月十五日「何を信じて生きていけばいいのか」

難波一夫

前回の続き

先生との話し合いは、先生の釈明からはじまりました。今までの教育についての弁解と謝罪でした。生徒はクラスの全員が参加して「こもこも」発言しました。

「天皇陛下のため死ぬ」、「軍人になつて祖国のために死ぬ」、「神の国だから敗けることはない」……神国、皇祖皇宗、万世一系、臣民、忠君愛国……などの言葉が次々に浮かんで消えていくのです。

先生の言葉や態度を信用することはできませんでした。誰かが、「もつと謝れ」、「責任を取れ」、「これからの勉強はどうなるんじや」、「むしろは自由になつたんじやから何をし

てもええんじや」、「予科練へいったものなんかはどつちなるんじや」……言葉は次第に激してきました。先生は何も返してくれませんでした。ただ謝るだけで……。

小学生のころから叩き込まれた教育が、八月十五日から完全に否定されたのです。これから「なに」を信じて生きていけばいいのか。頭は完全に混乱してしまいました。

井上ひさしさんの「二つの憲法」(岩波ブックレット)を読むと、1945年の2月の段階で、天皇は当時の重臣を7人呼んで、個別に戦局の推移を尋ねているのです。

一人目が平沼、つづいて広田、近衛、若槻、牧野、岡田、そし

て最後が東条が意見をいったようです。天皇は、この戦争の行く末について危惧をもちながら、「もう一度戦果をあげるようがんばろう」と答えたのです。

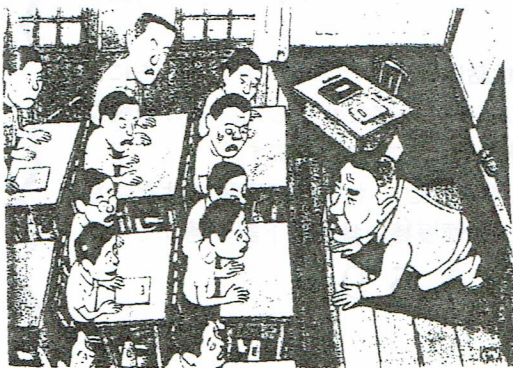
このときに戦争をやめておれば、東京や岡山などの全国の大空襲も沖縄戦もソ連の参戦も、そして原爆も落ちなかつたのです。また、私たちの学校も家も焼けることはなかつたのです。

当時の憲法(明治憲法)では、第一条は「大日本帝国は万世一系の天皇之れを統治す」。第十一条では「天皇は陸海軍を統帥す」と。

つまり、天皇は政治家であり、軍人であつたのです。そして

「天皇は、現御神(あきつみかみ)つまり生き神様で、日本人は他の民族よりも優越した優秀な民族で、八紘一宇一世界ひとつの家になつてその主人は日本人で、つまり延べて世界を支配すべき運命を有す」といつていたのです。

ところが、1946年になつて、天皇がみずから「あれは全部嘘でした。あれは架空な観念でした」と宣言しました。これが人間宣言です。



画 クミタ リユウ

「昭和二十年の絵手紙 私の八月十五日」より

今、読んでもらいたい一冊

岡山市小学校図書館司書 河島玲子

『もしも8歳のこどもが大統領に選ばれたら』

加納眞士・著 ボビー・オロゴン・画 (ポプラ社)

国会での審議、近隣国との緊張の高まりなど、ニュースを見るたびに、この国はどこへ向かおうとしているのだろうと不安になってしまいます。この『もしも8歳のこどもが大統領に選ばれたら』は短い物語ですが、複雑な大人の政治社会をあっさり方向転換させてしまった8歳の男の子が主人公です。

タチツトット国では、はじめの大統領を選ぶことになりました。大統領にふさわしい人を国中から選ぶためにスーパーコンピュータが使われます。政治家たちは裏工作に走りますが、コンピュータが選んだのはミックモックという少年、8歳の普通の男の子でした。

大統領になったミックモックは、まず、議会はテレビで生中継で放送すること、決まったことはみんなが守ることを発表します。大臣やお役人、議員はこの発言

にびつくり。さらに、ミックモックは軍隊制度を廃止することを宣言しました。これには国中がどよめきました。

早速、議会を開いて、大臣や議員がミックモックに詰め寄ります。でもミックモックは「だって、だれもが戦争をいやだと思ってるんでしょ。だったら、軍隊はいらないんじゃないの」と答えます。軍隊廃止に反対の大人たちは裏でいろいろと画策を始めますが……。

理想と現実を分けて考えている大人たちはこどもの率直な意見に右往左往します。でもしだいにミックモックの素直な心が周りの大人たちを変えていきます。

物語とは離れますが、6年生は国語で「『平和』について考える」という単元で自分の意見文を書きます。日本の戦争の歴史や世界の

現状を少しずつ学びながら、自分の意見をまとめていきます。そこには素直な意見が書かれており、読ませてもらうとはっとすることがあります。大人はいろんな問題を知ってはいるけれど、仕方のないこととあきらめていることがあるのかも、と考えたりします。

『もしも8歳のこどもが大統領に選ばれたら』は再出版されたものです。『こどもの大統領』という名で2002年に出版されました。その後、絶版となっていました。作者の元へ復刊を求め、声が多く届き、今の題名で再出版されたそうです。大人にとっても、こどもにとっても、今の世の中を考えるきっかけになる1冊ではないかと思いました。

こうしま れいこ



おかやまコープさんがすてきな企画をしてくださいました。今回の申込の期限は過ぎていますがチラシを転載させていただきます。次回は2月10日(月)で場所時刻は同じです。

みんなはっぴー

憲法と私—青春の日々の思い出— 少年Nの話—

日時：12月14日(土) 10:00~12:00

場所：コープ山陽 組合員活動室

募集人数：30名 (応募者多数の場合は抽選落選者に電話連絡します)

参加費：無料 ★託児あります

託児を申し込まれる方へ(1歳6ヶ月から)---

- ・託児料は100円/託児対象児1人につき
- ・当日は早めに来て受付をしてください。
- ・タオル、ティッシュ、お茶等に記名の上、持参ください。
- ・おもちゃ、おやつは持たせないでください。
- ・当日、体調のすぐれないお子様はお預かりできません。



★当日スケジュール★

- 10:00 開会
- 10:05~ ペーパーサート
ニゴリラと大砲ニ
- 10:20~ 難波一夫先生のお話
ニ憲法と私ニ
- 11:20~ ロールケーキ
9条ロールを作ろう
- 11:40~ 質問、交流、試食
- 12:00 閉会

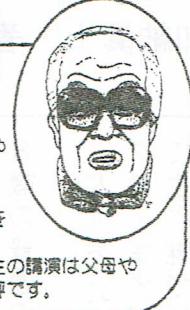


お問い合わせは
岡山東エリア事務局 086-256-2677

主催：くらし応援委員会(赤穂)

みなさん、日々の暮らしの中で幸せを感じていますか？
子育て真っ只中の人も、子育てから卒業した人も、この幸せが
ずっと続くために何をしたらいいのでしょうか？
難波一夫先生のお話をお聞きして、みんなで憲法の大切さを
考えてみましょう！

難波一夫先生 プロフィール



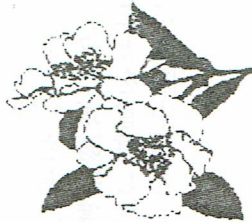
『子育て相談ネット
ワーク』代表
高校教師としての実践や
長い相談活動の経験と
豊富な読書量で現代の
課題に対応できる知識を
お持ちです。
子供の目線に立った先生の講演は父母や
現役の先生方にも好評です。

★申込締切 12月6日(金)

みんなはっぴー 参加申込書

名前	電話番号	託児
()	()	○ 〇月 〇日
()	()	○ 〇月 〇日
()	()	○ 〇月 〇日
()	()	○ 〇月 〇日

※お寄せいただいた個人情報は目的以外での使用はいたしません。
センター → 岡山東エリア事務局



か ん ざ さ

ようなら2013年

ネットワーク通信も 本年最後の号になりました この一年陰に陽に支えてくださって心からお礼を申し上げます

んねんであったこと 嬉しかったことなど なかでも腹立たしいこと 怒ることがたくさんありました

(ウ)ソにも種がいるといひます

憲法9条 原発事故処理 汚染水 普天間基地 秘密保護法 消費税 TPP 三本の矢 集団的自衛権 積極的平和主義 ブラック企業 教科書 社会保障 温室ガス・・・ これらへの今の政治は わたしたちを本当にしあわせにしてくれるのでしょうか

つて 日本の支配者は ドイツのヒットラーやイタリアのムッソリーニと組んで第二次世界大戦を引き起こし、そして何千万という人たちが犠牲になりました

そのドイツのナチスの手口から学べという大臣(元の首相)また自らを右翼の軍国主義者と呼べる総理です。危ない 危ない 戦争は絶対反対です

子どもたちに明日がなくなります

(N)